

平成29年6月24日（土）
まつさか若者クラブ

市政運営から見る 松阪市の現状と将来

企画振興部 市政改革課 改革係
係員 田中 広毅

松阪市のまちづくりの基本計画



『松阪市総合計画

～住みやすさ進行中! バージョンアップ松阪～』
(平成28年度策定)

“10年後の将来像”

「ここに住んで良かった・・・」

みんな大好き松阪市」

「市民のための市役所」とは？



7 市民のための市役所

(行政経営)

- ① 計画的な行政運営
- ② 市民との情報共有
- ③ 健全な財政運営

- ・ **社会情勢等の変化に対応し、安定した行政運営をめざす**
- ・ **市民ニーズに沿った政策・サービスの実現をめざす**

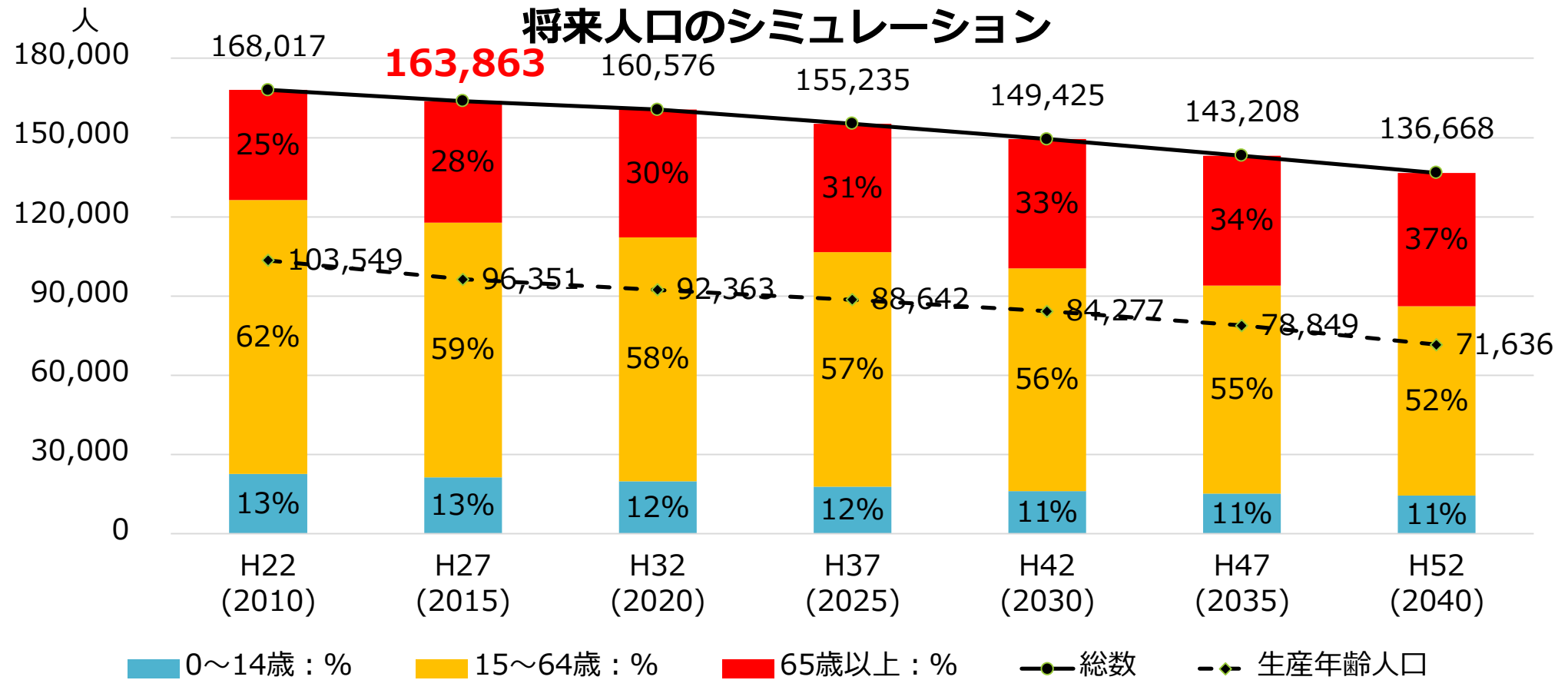
市の財政状況について

平成27年度決算（一般会計）

歳入：約**645.6**億円

歳出：約**632** 億円

少子高齢化と人口減少①



少子高齢化と人口減少②

少子高齢化と人口減少

産業の担い手(=税を納める人)の割合が減り、医療や介護の必要な年齢層の割合が増加することが問題。
(税収は減るのに、社会保障関連費用が増加していく。)



行政サービス向上に費やす費用が圧迫されていく！

公共施設の維持コスト

延床面積 (㎡)

公共施設の建築年次別延床面積分布

120,000

100,000

80,000

60,000

40,000

20,000

0

築50年以上

~築50年

~築45年

~築40年

~築35年

~築30年

~築25年

~築20年

~築15年

~築10年

築5年未満

築20年を超える公共施設は全体の**80%**に相当する
(※延床面積ベース)

今後40年間、現在あるすべての施設を維持していくためには、**1,556億円**必要。

今求められる行政運営とは

・**ヒト・モノ・カネ・時間**（これらを「**経営資源**」という。）は有限。
→市民・事業者・行政が**協働**し、それぞれの**役割**を果たしていかなければ、課題は解決できない。

①「**選択と集中**」

…市役所がすべき事業とは何か

②「**行政経営**」

…実績を評価し、改善し続ける仕組みの確立